

宮城県感染症発生動向調査情報

令和03年10月21日発行

2021.10.11 ~ 2021.10.17 - 第41週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第38週	第39週	第40週
水痘		1 0.10		1 0.50	4 1.33			2 0.07	8 0.14	327				
流行性耳下腺炎								2 0.07	2 0.03	136				
感染性胃腸炎	10 2.50	14 1.40	4 0.80	4 2.00	6 2.00	10 2.00		114 4.22	162 2.79	5,261	◎	◎	◎	◎
手足口病		4 0.40	5 1.00	3 1.50	6 2.00	12 2.40	4 2.00	34 1.26	68 1.17	423	○	○	○	◎
伝染性紅斑		2 0.20							2 0.03	40				
突発性発しん		1 0.10	2 0.40	2 1.00	1 0.33	5 1.00	1 0.50	14 0.52	26 0.45	1,123	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ		5 0.50						29 1.07	34 0.59	118				○
インフルエンザ									0 0.00	12				
咽頭結膜熱		2 0.20						1 0.04	3 0.05	469				
流行性角結膜炎	1 1.00	1 0.33						1 0.17	3 0.25	58				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.75	3 0.30					6 1.20	6 0.22	18 0.31	862				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎									0 0.00	35				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症		5 0.50	1 0.20	7 3.50	5 1.67			1 0.04	19 0.33	5,248	◎	レ	○	レ
感染症胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1										
	川崎病													
	不明発疹症								3					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

仙南管内 男性1名(第39週)
仙台南管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
仙南管内 男性1名(第36週)
石巻管内 男性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台南管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

仙台南管内 女性1名(O型不明)

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 男性1名
仙台南管内 男性1名

5類感染症: 梅毒

仙台南管内 男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症

塩釜管内 男性1名, 女性1名
石巻管内 男性1名
仙台南管内 男性4名, 女性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【水痘】

登米管内で、注意報レベルを超えました。

【手足口病】

気仙沼管内で、警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

塩釜管内 第41週採取分 SARS-CoV-2 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第38週採取分 (9.20~9.26)	第39週採取分 (9.27~10.3)	第40週採取分 (10.4~10.10)			
RSウイルス	1件	0件	1件			
アデノウイルス	0件	1件	0件			
サイトメガロウイルス	0件	1件	1件			
パラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件			

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

インフルエンザの流行は、例年11月下旬から12月上旬にかけて始まり、1月下旬から2月上旬にピークを迎え、春先まで続きます。今シーズン(9月6日以降)、県内での患者発生はありません。昨シーズン(2020.8.31~2021.9.5)は新型コロナウイルス感染症対策により、県内での患者数は13人と流行はみられませんでした。日本感染症学会は、昨シーズン非流行であったために、社会全体での集団免疫が形成されておらず、大流行のおそれがあると注意を呼びかけています。インフルエンザの予防には、予防接種を受けることが有効です。厚生労働省によりますと、今シーズンのワクチンは昨年よりも遅れたペースで供給され、昨年の使用量と比較すると少ないものの例年の使用量に相当する程度は供給される見込みです。予防接種を受けてから、抗体ができるまで約2週間かかり、効果は5か月間持続しますので、計画的に接種することをお勧めします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

